

# 福島県林業

No. **603**

題字 福島県知事 佐藤雄平



**11** 2014

かんしゅう■福島県農林水産部  
表紙の写真■新月伐採作業



# あいさつ

林業・木材製造業労災防止協会  
福島県支部長 朝田 宗弘

林業・木材製造業労災防止協会発足から五〇年の節目を迎え、新たなスタートを切る年に、福島県支部長に就任しました。事業者並びに従業員の皆様、さらに職員と一体となり、災害事故「ゼロ」を目標に努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

平成二六年度も早いもので半年が過ぎてしまいました。厚生労働省労働局より「死亡労働災害多発非常事態宣言」が発せられるほど、本年は死亡災害が多発しております。去る十月八日（水）に開催された福島県産業安全衛生大会でも福島県の早期復興と労働災害防止の実現を誓う大会宣言が採択されたところです。

話は変わりますが、九月二七日、長野・岐阜県境の御嶽山が噴火し、多数の死傷者が出ました。秋の紅葉が美しく楽しい休日、誠に痛ましい出来事でした。災害や事故が起きる度、予測や原因が取り沙汰されます。「リスクアセスメント」の言葉を聞いたことがあると思います。簡単に説明すれば、過去の経過や事故を分析統計処理した情報を基に危険要因を洗い出し、危険要因の起こりうる可能性を評価することで、災害や事故に日頃から備えることが大切なのではないでしょうか。

労災事故防止には慣れによる基本をおろそかにせず、積極的に各種講習会等に参加し、自己技術向上に努めることも大事です。

今年、十一月十七日（月）、午後一時から郡山市ビッグパレットふくしまで事業者、従業員等を対象とした「時代に即応した伐倒技術の向上に係る集団指導会」を「チェーンソーの技術向上」「発注者（国有林）が見た事業現場」などを主な講話内容に無料で開催します。多くの方々の参加をお待ちしております。

今後、県・市町村からは森林再生事業が発注されます。間伐事業が主な作業になることから、かかり木の事故が懸念されます。もう一度かかり木処理方法を各職場で研修され、安全第一で仕事に取り組まれること、また振動障害特殊健康診断の日程も決まりましたので、受診されて自分の健康を確かめることが肝要です。終わりに、当支部の運営に今後とも関係者の皆様のご支援ご協力をいただけますよう、よろしくお願い致します。

## 《も く じ》

とびら	原木しいたけ再生への取り組み……	5～6
あいさつ	林業研究センターだより……	7～8
林業・木材製造業労災防止協会	森と生きる……	9
福島県支部長 朝田 宗弘……	普及指導員通信……	10
福島県優良建設工事表彰について……	水源林整備事務所だより……	11
第12回うつくしま育樹祭	木材市況・ふくしま東西南北……	12
(全国植樹祭プレイベント)開催…	はなしのひろば……	13



# 福島県優良建設工事表彰について

福島県森林整備課

- 平成26年度福島県優良建設工事は、平成25年度に完成した工事を対象とし、土木部関係で15部門、19件（20社）、農林水産部関係で9部門、9件（9社）の受賞が決まりました。ここでは、林業関係の受賞工事3件について紹介します。



日向地区

## 治山部門

- 施工業者 〒963-3401 田村郡小野町大字小野新町字品ノ木126-2  
株式会社 石覚組 代表取締役 石井 敏也
- 事業名 予防治山事業 日向地区  
田村市都路町岩井沢地内
- 工事概要 山腹工 0.07ha
- 寸評 本工事は、東日本大震災及び平成23年10月台風10号災により山腹崩壊が発生し、家屋に被害を及ぼしたことから、山腹工事0.07haを施工したものである。

人家裏の狭隘な急傾斜地で冬期間の工事であるなど作業条件が厳しい中で、工期内に工事を完成させた点は高く評価できる。

仮設階段の設置や滑落防止のためのスパイク等の装着など安全対策に取り組んだ点も評価に値する。

コンクリート土留工は、地山や既設構造物とのすり付けに配慮し、冬期施工にもかかわらず表面仕上げも良好で、非常に優秀な出来ばえである。



酒垂宝木地区

## 林道部門

- 施工業者 〒963-6131 東白川郡棚倉町大字棚倉字南町20  
藤田建設工業株式会社 代表取締役社長 藤田 光夫
- 事業名 ふるさと林道緊急整備事業 酒垂宝木地区  
東白川郡鮫川村大字赤坂西野地内
- 工事概要 舗装工 1,240m
- 寸評 本工事は、山間部の狭小な地形における林道の改築工事である。

舗装工の施工に当たり、転圧能力に優れたNETIS（国土交通省新技術情報提供システム）登録のタイヤローラを使用するとともに、表層施工機械に平坦性向上のためのセンサーや表面温度センサーを装着し、出来形及び品質の向上に努めた点は高く評価できる。

また、施工が冬期間であったため、アスファルト合材の出荷温度調節や運搬時の二重シート養生を実施するなどのきめ細かな配慮や舗装密度測定器を用いて密度を測定し、転圧不足の発生防止を図った点も評価に値する。

適切な施工管理を実施するとともに高い施工技術を十分に発揮しており、出来形・出来ばえ共に優秀である。



綱木地区

## 治山（災害復旧工事）部門

- 施工業者 〒972-8321 いわき市常磐湯本町辰ノ口1  
常磐開発株式会社 代表取締役社長 佐川 藤介
- 事業名 災害関連緊急治山事業 綱木地区  
いわき市田人町石住地内
- 工事概要 山腹工 1.48ha
- 寸評 本工事は、平成23年4月11日に発生した東日本大震災の余震による大規模崩壊地の復旧工事である。

降雨による表土流出を防止するため、表面水を水路工に導水するカゴ枠工の提案や、暗渠工事において掘削断面に合わせた重機バケットを独自に製作し、作業の効率化を図った点は高く評価できる。

また、1日2回の危険予知活動を実施して現場状況に応じた安全作業の指示徹底を行うとともに、施工中の落石事故防止のため防護ネットを施工するなど、安全管理に万全を図った点も評価に値する。

鋼製自在棒土留工の表面部分の詰石を丁寧に仕上げるなど、出来形・出来ばえ共に極めて優秀である。

第12回

# うつくしま育樹祭 (全国植樹祭プレイベント) 開催

日時：平成26年10月4日(土)

場所：びわ沢原森林公園、昭和の森（耶麻郡猪苗代町）

うつくしま育樹祭実行委員会



記念撮影時、参加者全員で「エイエイオー！」

うつくしま育樹祭は、県民の皆さんに緑や森林とふれあいながら、森林を守り育てることを知り、感じていただくことを目的として、森林の手入れをするなどの育樹作業や苗木を植栽する植樹作業、さらには参加者同士交流を深めていただくため様々なイベントを実施しております。

今回の育樹祭は今年8月に平成30年全国植樹祭の福島県開催が内定したことを記念して、全国植樹祭のプレイベントとして実施し、平成30年全国植樹祭福島県開催のPRも併せて行いました。

また、昨年に引き続き鳥取県の美鳥の大使（八頭町立丹比小学校と琴浦町立八橋小学校の緑の少年団の皆さん）から、「とうほくっとり・森の里親プロジェクト」の一環として育てられた苗木を寄贈していただき、県内の参加者と一緒に行いました。

県内の緑の少年団の参加は、地元猪苗代町から猪苗代小学校、吾妻小学校、翁島小学校、3つの少年団の皆さんが参加し、昨年より里親プロジェクトに協力していただいている南会津町の田島保育園の園児の皆さんにも参加していただきました。



平成30年（第69回）全国植樹祭PRブース、クイズに挑戦中



苗木の寄贈セレモニー



記念植樹



開会式は、渡邊裕樹実行委員長の開会のことば、大会会長を務める佐藤雄平福島県知事（代読：畠利行農林水産部長）のあいさつ、福島県議会議長（代読：西山尚利農林水産委員長）の来賓祝辞、前後猪苗代町長の来賓祝辞、苗木（コナラ100本）の寄贈セレモニー、記念植樹（コナラ1本、サクラ2本）、記念撮影の順にとり行いました。



育樹活動



植樹活動

参加者は約360人にのぼり、ふくしま・グリーンフォレスターの会や福島県もりの案内人の会の森林ボランティアの皆さんのご協力の下、それぞれの班に分かれて育樹作業や植樹作業に汗を流しました。育樹作業では、森林公園内のアカマツやカラマツの生長を促進させるため、また猿や熊などの野生動物を隠れにくくし、人間と動物の緩衝帯とするために、小径木などを切り景観を良くしました。植樹作業では、開会式で鳥取県から寄贈されたコナラの苗木100本、農林中央金庫福島支店から協賛いただいたサクラの苗木50本を植栽しました。

会場には、豚汁テント、物販テントが設けられ、お昼休みには参加者全員に豚汁を振る舞い、そばぼん（そばの実のお菓子）や玉こんにゃく等の地元特産品が販売されました。



昭和の森バスツアー



木工クラフト

午後の交流イベントは、木工クラフトと昭和の森バスツアーの2コースに分けて実施しました。昭和の森バスツアーでは、前回福島県で昭和45年に開催された第21回全国植樹祭の会場となった昭和の森（猪苗代町）を訪れ、昭和天皇・皇后両陛下がお手植えされたアカマツや記念碑の見学、自然散策等を行いました。一方、木工クラフトでは、東邦銀行から協賛いただいた木製の貯金箱を作製しました。貯金箱は木製の部品を組み合わせるだけで完成するカラクリ式となっているので、早い参加者は数分も経たないうちに完成させていました。

閉会式は、飯東昭三実行副委員長があいさつし、閉幕しました。閉会式終了後、猪苗代町から提供していた地元の産米「天のつぶ」1kgを参加者全員に配布し、受け取った参加者は帰路に頂きました。

今後、平成30年の全国植樹祭に向けて、福島県が震災・原発事故から復興した姿を全国へ発信できるよう、こうした森づくり活動をより一層進めていきたいと思っております。

最後に、第12回うつくしま育樹祭にご参加・ご協力していただいた皆さんに御礼を申し上げます。ありがとうございました。

# 原木しいたけ再生への取り組み

福島県北農林事務所 森林林業部

平成二六年七月十一日に、伊達市の一部の原木しいたけ（施設栽培）生産者について、国の出荷制限が解除されました。出荷制限解除が認められた生産者は、伊達市霊山町の齋藤憲一さん、大橋茂美さん、牧野善治さんの三名です。

三名は、指標値（五〇レク／キログラム）以下の原木を使用し、「福島県安心きのこ栽培マニュアル」に基づく放射性物質対策を行った結果、食品の基準値（一〇〇レク／キログラム）を下回るとした際の安定的な生産が可能とな



栽培状況の確認

りました。

震災前は、野外で本伏せ等を行っていましたが、原発事故の影響により、野外で本伏せを行った場合、周辺の放射性物質による二次的汚染を受けられる可能性があるため、今は、ほだ木づくりからの全工程で施設内での栽培に取り組んでいます。栽培では、人工的に湿度や温度を調整しなければならず、初めてのハウス内管理で、順調にしいたけ菌が原木に活着・伸長し、ほだ化が図れるよう、苦労を余儀なくされました。



出荷パック

具体的には、秋田県のお原木を使用し、新設したハウス内で、植菌から仮伏せ、本伏せ、発生、休養までの一連の作業を、散水や通気に気を配りながら行っています。

「地元でしいたけ栽培を続けたい」と熱意を持って試験栽培に取り組み、繰り返しほだ木やしいたけの放射性物質検査を実施して安全性を確認した結果、今回の出荷制限解除につながりました。

出荷については、パック等に原産地（市町村）、生産者名、栽培方法の情報を表示し、十月から再開しています。「まずは、周りのみなさんに食べてもらえる条件が整ったことがうれしい、お世話になった人達に、原木しいたけを振る舞いたい」と言われたのが、印象的でした。

なお、原木しいたけ再生回復緊急対策事業として、伊達市の生産者を含め、県内の原木しいたけの再生産をめざす生産者が、販路拡大の一環で、県内各地でしいたけの試食・販売会を行っています。

平成二六年十月二五日、二六日には、郡山市の福島県林業研究センターで行われた「第三九回福島県林業祭」に出店しました。シンプルなたたき焼きや塩焼きのしいたけを試食した来場者からは、「おいしい」

と好評を得ていました。左表の日程で、原木しいたけのPRをしていますので、みなさま、香りのよい原木しいたけをぜひ味わってみてください。

日 時	場 所
11月1日(土) 9:00~16:00	JA新ふくしま本店 (福島市)
11月2日(日) 9:00~14:00	JA新ふくしま本店 (福島市)
11月2日(日) 10:00~18:00	イオンモール (南相馬市)
11月8日(土) 10:00~18:00	JA伊達みらい んめーべ (伊達市)
11月9日(日) 10:00~18:00	新地町産業祭 (新地町)
11月15日(土) 10:00~18:00	コープふくしま保原店 (伊達市)
11月15日(土) 10:00~18:00	道の駅「安達」智恵子の里 (二本松市)
11月16日(日) 10:00~18:00	道の駅「安達」智恵子の里 (二本松市)
11月21日(金) 9:00~18:00	㈱いちい八木田店 (福島市)
12月9日(火) 11:00~19:30	アンテナショップふくしま館ミデッテ (東京都)

※試食・販売の時間については、変更となる場合があります。





福島県林業祭での状況



福島県林業祭への出店状況

福島県きのこ振興協議会は、きのこ類の生産技術の向上と経営の改善を促進し、本県きのこ産業の健全な発展を図ることを目的に設立され、きのこ生産者団体、林業団体など四団体が構成員で、きのこ振興センターが事務局となっています。

協議会では、風評の払拭により県産きのこ類の販売・消費の拡大が図られるよう、本年十二月の土・日曜日に六日間にわたり、「ふくしまの恵みPR支援事業」を活用し、福島県の首都圏情報発信拠点である日本橋ふくしま館「ミデッテ」で生きのこ(しいたけ、なめこ、エリンギ等)やきのこ加工品の販売促進活動を実施することとしています。

また、その販促活動では、PR加工品として協議会がつくった「美味しいなめ茸」と「ふくふくなめこ味噌」を一定の金額以上を購入していただいた方にプレゼントすることとしています。「美味しいなめ茸」は、福島県オリジナルのなめこ品種である福島N-1を始め県産のキクラ

# 風評払拭に向けた取り組み

福島県きのこ振興協議会

ゲ、ヒラタケ、エノキタケといったおいしいふくしまをギューと詰めた逸品であり、「ふくふくなめこ味噌」は、大型のなめこ品種である福島N-2を使用している優れたものです。

販促活動では、県産きのこ類の首都圏ファンを一層拡大できるようしっかりと取り組んでまいりますので、期間中東京へお出での方は、どうぞお立ち寄りください。

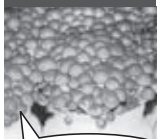


「美味しいなめ茸」と「ふくふくなめこ味噌」

## きのこで地域を元気に (公社)福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

福島N1号



安定多収量

福島N2号



大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)

福島N3号



コナラ原木で安定・多収量  
食物繊維、ペクチン様物質豊富

福島N4号



○その他各種種菌

○菌床 ・シイタケ  
・ハタケシメジ  
・ムラサキシメジ等

○マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926  
E-mail: f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL: http://www.f-kinoko.org

林業研究センターだより

# 樹木の内部汚染に関する研究状況について

## ―チェルノブイリ事故に関する研究結果を参考として―

林業研究センター 林産資源部 主任研究員 小川 秀 樹

### 1 はじめに

現在、樹木の表面に付着した放射性セシウム(外部汚染)に比べて、樹木の内部に含まれる放射性セシウム(内部汚染)は極めて低い状況にあることについては各機関が報告していますが、今後安心して木材等の林産物を利用するため、さらには森林内における放射性セシウムの動態を把握するためには樹木の内部汚染に関する情報が必要となります。

当センターでは事故当初より樹木の内部汚染に関して試験研究を実施しており、内部汚染に関しては一九八六年のチェルノブイリ事故に関連して多くの研究がなされていることから、現在の試験研究はそれらの結果を参考としているところですが、そこで、それらの結果の一部をご紹介します。当センターで実施している試験研究の概要についてご報告いたします。

### 2 チェルノブイリ事故における研究結果の概要

一九八六年四月に発生したチェル

ノブイリ原子力発電所事故では、原発周辺地域だけではなく、ヨーロッパの広い範囲の森林が汚染されました。そのため、森林汚染に関して膨大な調査がその後各国で実施され、国際原子力委員会(IAEA)がそれらの結果をまとめた報告書を作成しています。

その中の一つにおいて、樹木の内部汚染に関係する様々な要因の影響度を次のとおり示しています。《土壌タイプ(100)》《地形(10)》《単・複層林(4)》《樹齢(4)》《樹種(2)》。カッコ内の数値は影響度の指数です。内部汚染が多様な要因に影響を受けることがわかり、日本においても今後参考になると思われます。中でも「土壌タイプ」が最大の要因となっていますが、では、どのような土壌タイプの影響度が高いのでしょうか? IAEAの報告書では次のようになっています。《泥炭―グライ土》《泥炭》《ポドゾル土》《砂湿ポドゾル土》《ポドゾル―大陸型黒土》。つまり日本では一部地域でしか見られない泥炭やポドゾルといった土壌タイプが内部汚染の大きな要因となつて

いることがわかります。このような土壌タイプは、日本の一般的な森林に比べると有機物の分解が極端に遅いため有機物の分厚い層を形成します。このような層に分布する根が効率良く放射性セシウムを吸収するのではないかと考えられています。

また、内部汚染、特に材の放射性セシウム濃度の推移に関するデータはあるでしょうか? これがあれば日本の将来予測の参考となるはずですが、残念ながら、事故の直後からの継続した調査はほとんど実施されていません。これは事故の影響に関する情報統制があつたためと言われています。その代わりに、数理モデルを利用し汚染の推移を再現する試みが数多く報告されています。IAEAは報告書において十一種類の数理モデルの結果を総合し一つの結果を例示しています(図1)。Max(最大)、Medium(中間)、Min(最小)の三つの予測を行っていますが、いずれの予測でも事故から五年程度の期間、放射性セシウム濃度は増加しています。これらのモデルにおいて最も重要な仮定は根からの

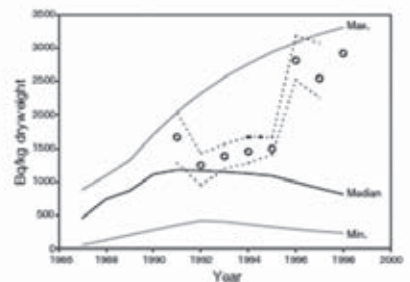


図1 モデルによるチェルノブイリ事故後の材(マツ)の<sup>137</sup>Cs濃度の結果と実測値(○)。原発から130km北西の約555kBq/m<sup>2</sup>の地域。[チェルノブイリ事故の環境影響とその修復―20年史(2006)IAEA]より引用

放射性セシウム吸収量です。これほどの程度見積もるのかによつて計算結果が大きく変わってしまいます。先にも触れましたとおり、チェルノブイリで樹木にセシウムが吸収されやすかつた土壌タイプは日本では稀であることから、この結果も大きく変わることが予想されます。

以上から、チェルノブイリに関する研究成果は日本においても参考になる部分はあることが、土壌タイプが日本とは異なることから、その結果をそのまま日本に当てはめることは難しい側面もあり注意が必要となります。またチェルノブイリの初期データが少ないことが、その結果を現在の日本で利用しにくい原因の一つとなっています。

### 3 福島県林業研究センターにおける研究の状況

当センターでは、以上のような既存研究の結果を踏まえ、樹木の初期汚染状況の把握を中心に研究を実施



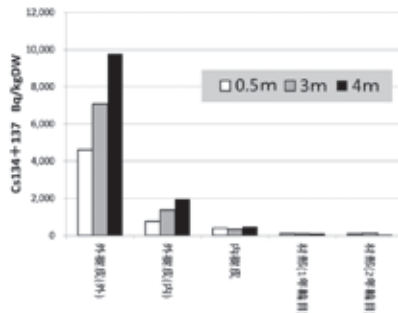


図2 スギ樹皮部における放射性Cs濃度分布 (2012年4月伐採)。樹高約20mのスギを伐倒後に、高さ0.5m、3.0m、4.0mの位置で試料を採取。

しています。まず、外部汚染と内部汚染についての調査結果の一部を紹介いたします。センター内にて二〇一二年四月にスギを伐採し、樹皮及びそこに隣接する材部の汚染分布を調べました。表面一〜二ミリの外樹皮(外)、外樹皮(内)、内樹皮、材部(二年輪目)、材部(二年輪目)に区分し、放射性セシウム濃度を測定しました。その結果、外樹皮(外)の放射性セシウム濃度が高く、そこから材部に向かって急激に減少する傾向が確認されました(図2)。このことから外部汚染に比べて内部汚染は非常に低いレベルにあることがわかりました。また、事故後の初期において樹体内部に見られる放射性セシウムは各種調査の結果から、葉面や樹皮面から移行したと推察されます。

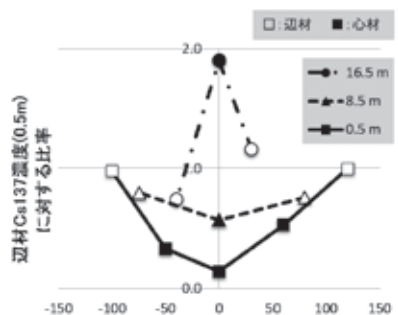


図3 スギ立木の材部の放射性Cs濃度の分布 (2012年5月採取)。スギを伐倒後に高さ0.5m、8.5m、16.5mで円盤を採取。

に福島第一原子力発電所から三〇〜六〇キロメートルに位置する森林五地点を選定して各地点から二本(合計十本、樹高二四・〇〜一四・九メートル)のスギ立木を伐採しました。さらに高さ別に円盤を採取し、各円盤から材部を採取して放射性セシウム濃度を測定しました。その結果、一本の樹木内でも高さ方向の位置や心材と辺材の別によって汚染状況が異なっていることがわかりました(図3)。辺材の放射性セシウム濃度は高さにかかわらずほぼ一定でしたが、心材の放射性セシウム濃度は、先端に近づくにつれて高くなる傾向にありました。また、調査した十本の比較から、心材の放射性セシウム濃度は心材の含水率、立木の先端からの距離によって変わってくるということがわかりました。

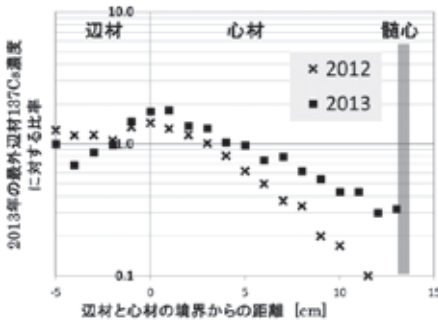


図4 スギ立木の放射性Cs濃度の水平分布。高さ1mの位置で、樹皮を剥離後に髓心に向かって成長錐を陥入し、髓心から形成層面までの円柱形の材を採取。

このような分布は年々変化するのでしょうか?それを知るためには毎年樹木を伐採してセシウムの分布の変化を調べる必要があります。しかし、調査する木が毎年変わると正確な変化を知ることができません。そこで標準となる調査木を設定し、木を伐採せずにほぼ同じ位置から材を毎年採取する方法を当センターでは採用しています。その結果を図4に示します。

二〇一二年から二〇一三年にかけて、辺材の放射性セシウム濃度は低下していますが、心材の放射性セシウム濃度は増加しています。調査を行った他のスギでも同様の傾向が確認されています。円盤の材に含まれる放射性セシウム量を計算から推定すると、二〇一二年と二〇一三年ではほとんど変わらないことから、根から新たに放射性セシウムが吸収されたというよりは、辺材から心材に放射性セシウムが移動したと考えられます。このような傾向も樹種によって大きく異なることがわかってきています。

## 4 まとめ

これまでの研究結果をまとめると次のとおりとなります。

- スギの内部汚染は外部汚染に比べて非常に低い状況にあります。また、スギの材部の放射性セシウム濃度は、辺材が高さ方向でほぼ均一であるのに対し、心材は樹木の先端に近づくほど高くなる傾向にあります。以上の傾向は年々変化していると考えられます。
- スギにおいては、年々辺材から心材に放射性セシウムが移動しますが、根からの吸収による放射性セシウム量の明らかな増加は今のところ認められていません。

今後は根から放射性セシウムがどの程度吸収されるのが問題となりますが、チェルノブイリ事故に関する研究結果を見る限り日本とは土壌タイプが異なることから、チェルノブイリほど日本においては根から吸収しない可能性が異なります。

森林に携わる方々にとって一番の関心事は、「樹木の中の放射性セシウム濃度は将来的に増加するのだろうか?」ということだと思います。これを知るためには、チェルノブイリの事故後の調査で得られた知見を元に、日本の土壌や樹種に応じた研究を実施することが必要であり、特に初期汚染の状況を詳細に調査することが必要だと考えられます。

# 「森と生きる」

## 山の幸をもたらす 美しいふるさととの里山を後世に



森林保全巡視員 斎藤 昭二

私は、平成二六年四月一日付けで「森林保全巡視員」の辞令をいただきました。一年間の任期であり、まずは仕事の内容を理解することから始めなければならぬと思い、福島県森林パトロール事業実施規程に掲げる業務内容として、適正な森林の保全管理及び県営林の保護管理のため森林パトロールを実施して必要な業務を行なうものであることを理解しました。

担当する巡視区域は伊達市月館町及び川俣町です。広範囲に亘るので保安林や県行造林の場所がどこにあるのか、またどのような森林状況なのか把握するため、最初の巡視は前任者の指導をいただきながら行ないました。

私は、平成二六年三月に市役所を定年退職いたしました。これまで森林行政に携わってきた経験は、合併前の旧月館町役場時代に昭和四九年から六年間、産業課振興係で農業、

林業振興を担当いたしました。

当時は林産物の生産も盛んで、また保安林である町有林は公団造林を行なっており保育作業も盛んに行なわれました。私は林業担当者として山に登る機会が多く、高いところから自分の住んでいる町を眺めると大変すばらしい景色を見ることができ、何かと忙しい毎日の中で、安らぎのひと時を過ごしたことが今でも心に残っています。

そして今、巡視員となつて久しぶりに山に登つて感じることは、以前は林業経営も盛んに行なわれ、一般的に山林の手入れも行き届いており、林道、作業道も手入れされて利用しやすい状態で、車やバイクで山に登り業務をこなしていました。しかしながら我が地元地域の林業経営は、後継者不足もあり社会情勢の変化により衰退し、最近の林道、作業道はあまり手入れがされず車やバイクで通れない状態が目立っています。

す。このままでは山林の機能が失われるのではないかと危惧いたします。森林は私たちの生活に大変重要なものであり、その役割は言うまでもなく、木材の生産、農業用水や飲料水の水源、土砂災害の防止、レクリエーションの場の提供などそのほかにも多くの役割を担っています。このような機能は森林が健全な状態に保たれることによって成しえるものと思えます。

私は森林保全に関する技術・技能はこれといって特別に持ち合わせていませんが、私たちの生活になくはない大切な森林の健全な保全のため、今後自己研鑽に励み、森林の持つ重要性を再認識し、保全管理に少しでも一翼を担えれば幸いです。そしていつまでも山の幸をもたらす美しいふるさととの里山として後世に伝えていければと思います。



「女神山遠景」

- ① 県行造林地：月館町上手渡字女神山…写真中央の高い山
- ② 名勝・女神山：伊達市指定文化財
  - ・所在地 月館町上手渡字女神山
  - ・指定 昭和43年11月19日指定（旧月館町）

月館町の西部に連なる堀沢七森と呼ばれる山脈の南端にある599mの山である。山頂はいぼ石と呼ばれる奇岩が累々とし、眺望絶景名勝たるに恥じない。伝説、信仰の山で、記録には小手五岳の一つといわれ、また水雲山・東岳・御上山等の名で呼ばれてきた。伝説の中では小手姫に関するものが代表であり、小手姫顕彰会による春の例祭には、行楽を兼ねた人々で賑わいます。  
(「月館町の文化財」より)



# 三進煙石コミュニティセンター緑正館が 竣工しました！

■県中農林事務所

林業普及指導員 高橋 健二



完成状況（外観）

平成25年度森林整備加速化・林業再生基金事業（木造公共施設等整備）で整備した「三進煙石コミュニティセンター（緑正館）」について、紹介します。

事業主体である三進金属工業株式会社は、スチールラックを主力に物流システム、保管機器等の開発・製造・販売を行っている会社で、平成13年に縁あって平田村に新工場（福島工場）を設立し、地元の産業振興等に貢献しています。また、福島工場設立から継続してきた緑化運動及び地域貢献・交流活動は

「平成26年度緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞するなど、高く評価されています。

次に事業実施に至った経緯ですが、三進金属工業株式会社から、金属メーカーでありながら木造で地域のための施設を作りたいとの相談があったことから、県中農林事務所では事業採択に向けて、参考となる事業計画の提供、構造材となる大断面集成材等の資材調達に関する調整、施設の利用体系、費用対効果算出等における助言などの役割を担い、平田村などの関係者と計画内容の検討を重ね、県産材の利用促進、PR及び地域に広く開かれたコミュニティセンターとする事業計画を作成し、事業採択を受けました。

当コミュニティセンターは、床面積1,870㎡の大きさで、構造材は県中管内の木材加工業者が製造する大断面集成材等を使用し、全体で473㎡の木材を使用しました。当センターは、三進金属工業株式会社の「シンボルマーク」をモチーフにデザインされ、中央の円（玄関ホール）から三方向に研修室、展示室、食堂が接続されるユニークな構造となっております。



完成状況（玄関ホール）

正面玄関を入ると中央ホールの天井に、曲面で仕上げられた大断面集成材の梁や管柱を見ることができます。また、壁材、床材にも木材がふんだんに使用され、色彩的にも落ち着いた空間に仕上がっています。

当施設は、11月13日（木）に開所式を行い、正式にオープンします。今後は開かれた地域のコミュニティセンターとして、地産地消による農産物の郷土料理教室や地元小中学校の音楽会や絵の展覧会など幅広い利用が期待されています。県中農林事務所においても、市町村担当者会議や各種イベント等でも積極的に活用し、県産材のPRに努めるとともに、今後の木造公共施設整備事業計画の参考事例として、広く紹介していきたいと考えております。



施工状況

## 平成30年 第69回全国植樹祭だより

平成26年8月8日に開催された公益社団法人国土緑化推進機構の理事会で、平成30年に開催される第69回全国植樹祭の開催県を福島県とすることが内定しました。

「林業福島」では、全国植樹祭関連の話題を随時お知らせしてまいります。

### ◆全国植樹祭とは

全国植樹祭は、国土緑化運動の中心的行事として、昭和25年以来、毎年春に国土緑化機構と開催地都道府県との共催により開催されます。天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国各地から多数の参加者を得て、両陛下によるお手植えや参加者による記念植樹が行われます。

### ◆本県と全国植樹祭

本県では、昭和45年5月に猪苗代町天鏡台を会場とした「第21回全国植樹祭」が「後継者の森」をテーマにして開催され、天皇皇后両陛下のお手植えに続いて、県内外から2万3千人の参加者が赤松の苗木を植えました。（現在、森林公園「昭和の森」として整備されています。）

福島水源林整備事務所だより

## 独立行政法人森林総合研究所 が行う新規植栽木中の放射性 物質動態調査について

独立行政法人森林総合研究所  
森林農地整備センター  
福島水源林整備事務所

青木 勇

福島第一原子力発電所近隣地域においても、水源かん養等公益的機能の高度発揮や地域雇用の観点から、持続的、計画的に森林整備を推進していくことが期待されている。

標記調査は、当該地域におけるスギ、ヒノキなどの新規植栽木中の放射性物質の動態については知見に乏しいため当福島水源林整備事務所が管理する水源林造成事業フィールドで調査を行い、今後の水源林造成事業の推進のみならず、当該地域の将来的な森林整備、林業振興に資することを目的としている。

参加者は（独）日本原子力研究開発機構から四名、（独）森林総合研究所立地環境研究領域養分動態研究室から九名、森林農地整備センター本部二名、森林農地整備センター関東整備局三名、福島水源林整備事務所から五名（内一名は期間指導員）、双葉地方森林組合五名の計二十八名により八月四日から六日の日程で調査



（独）森林総合研究所森林農地整備センター  
福島水源林整備事務所



毎木・直径測定

を行った。

調査当日（八月四日）には川内村遠藤村長がお忙しい中、現地に来られ、調査内容を説明させて頂いた。

調査は新規に植栽を行ったヒノキ造林地を五〇メートル×五〇メートルの六箇所、六〇メートル×四〇メートルのプロットを一箇所、五〇メートル×四五メートルを一箇所の計八箇所で行っている。

- 具体的調査内容は次のとおりである。
- (1) 毎木調査
    - 一 プロット（五〇メートル×五〇メートル）のうち、三〇メートル×三〇メートルの植栽木について、個体Noを取り付け、地際高のマーキング、直径測定、樹高（苗長）測定。
  - (2) 土壌調査
    - 一 プロット内の五箇所について、二五センチメートル×二五センチメートルのリターの採取、〇―五、五―一〇、一〇―二〇センチメートル深の土壌をサンプリング。
  - (3) 空間線量測定（ガンマプロットターにより原研実施）
    - 一 ガンマプロットターによりプロット内の一〇メートル×一〇メートルの格子点全点（計二十八点）の一〇センチメートル高の空間線量を測定。
  - (4) 空間線量測定（サーベイメーターにより森林農地整備センター実施）
    - 一 サーベイメーターにより、プロット内の三〇メートル四方の一〇メートル×一〇メートル格子点（計二十八点）の一〇センチメートル高の空間線量を測定。
  - (5) カリウム施肥
    - 一 八プロットの内、奇数プロットの四つにカリウムを均等に手撒き散布（四二キログラム／一プロット）。
- （独）日本原子力研究開発機構の参加者以外は二〜三名で一班となり、各班で上記調査内容を三日間かけて行った。
- これから植栽木の成長につれ、そ



線量測定

の一部を定期的に採取することも予定されており、枝葉、木部、根などについて放射性物質の動態を継続調査することとしている。そのため調査期間は数十年に及ぶこととなる。

八月の調査で得られたデータは（独）森林総合研究所で解析が行われるが、前述のとおり、調査は長期スパンで継続して行われる。データの蓄積、分析という観点からは二回目以降の調査こそが比較対象のための最初のデータとなるのであり、重要度が増すと思われる。今後も関係各位の指導協力のもと、分取造林地をフィールドとした調査に福島水源林整備事務所として取り組むこととしている。

なお、第二回目の調査は平成二六年十一月に予定されている。





### 素材の価格〈工場着価格〉(8月15日現在)

(単位: m<sup>3</sup>当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	(0~0)	0	10 (9~10)	0	9 (8~10)	0
		10~13		並	スギ	13 (9~15)	1	8 (8~8)	0	11 (10~13)	0	11 (8~15)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	14 (13~15)	0	12 (12~12)	2	13 (12~14)	0	13 (12~15)	0
				並	ヒノキ	15 (14~16)	0	(0~0)	0	17 (17~18)	△1	16 (14~18)	0
		6.00	並	スギ	18 (16~20)	0	8 (8~8)	0	16 (14~18)	0	15 (8~20)	△1	
			並	ヒノキ	27 (27~27)	0	(0~0)	0	24 (20~28)	0	25 (20~28)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	13 (11~14)	0	12 (12~12)	0	12 (12~13)	△1	12 (11~14)	△1	
		4.00	並	アカマツ	9 (9~10)	0	(0~0)	0	8 (6~10)	0	9 (6~10)	1	
		1.80	並	アカマツ	7 (5~8)	0	(0~0)	0	7 (5~8)	0	7 (5~8)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)	0	(0~0)	0	30 (25~35)	△1	30 (25~35)	△1
並				米マツ	33 (33~33)	0	29 (29~29)	0	32 (28~35)	0	31 (28~35)	△1	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	27 (26~28)	0	27 (26~28)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	32 (28~36)	0	32 (28~36)	0	
南洋材		70~90	8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
				並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	0	(0~0)	0	3 (3~3)	0	3 (3~3)	0	
			並	広葉樹	(0~0)	0	(0~0)	0	3 (3~3)	0	3 (3~3)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	7 (6~7)	0	8 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	8 (7~8)	0	8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	10 (8~12)	0	11 (10~12)	0

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを、\*印は前月実績がなかったことを示す。
- 2. ( ) 内は各地域の価格幅、( ) 外は各地域の平均的価格を示す。
- 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
- 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

七月の原木市場への入荷状況は、前月比三〇割減(前年比六割増)の一七、九一一立方メートルとなつてゐる。販売量については、前月比二七割減(前年比二割増)の一八、三六五立方メートルとなつてゐる。八月の価格については、全体として保合となつてゐる。

管内の各国道沿線に「新そば」と書かれたのぼり旗が目につくようになつた。十月に入り山の木々が色づき初め、そばの刈り取りが最盛期を迎えている。県内のそばの生産は、会津地方に代表されるが、南会津地方においても下郷町の猿楽台地をはじめ、南会津町の中荒井・水無地区、さらにはたかつえ地区など大規模な生産団地があり、そばの栽培が盛んに行われている。

秋そばは、七月下旬から八月上旬にかけて種を播き、八月下旬から九月上旬に花が咲く。眼下一面に広がる真っ白なそばの花と背景の山々の緑が作り出す風景は、自然豊かな南会津地方を象徴する風景の一つであり、毎年九月上旬に開催されるそばウォークには県内外からの参加者があり写真撮影でにぎわう。さらに十月中旬から十一月にかけて各地で新そばまつりが開催され、新そばの風味を楽しみにしている人たちの人気イベントとなつてゐる。そばは、見て感動、食べておいしい「一粒で二度おいしい」作物である。



### 新そばの季節

南会津農林事務所 星 辰也  
森林業部森林土木課

栗生沢線の起点付近のリンゴ畑の中に、「そば処荒海農産物直売所」があり一年を通してそばが食べられる。この店の特徴は、約四七畝の圃場で自社生産した、福島県オリジナル品種の「会津のかおり」を使用している。メニューは、もりそば、せいろそば、山菜そば、地鶏そばがある。中でも、もりそばには自家栽培のアスパラ(季節限定)のおひたしが一品添えられ、そばとの相性が絶妙で、大盛り、特盛りを注文しても一、〇〇〇円以内で満腹感が得られる。また、季節の野菜、きのこを盛りだくさんに使ったおまかせ天ぷらも格安で食べられる。さらに、そば餅にじゅうねん(えごま)と砂糖をからめた「そばはつとう」も格安で美味である。

秋の深まりとともに紅葉が一段と美しい南会津地方の美しい自然を見ながら、味と香り豊かな新そばを是非味わっていただきたい。



はなしの  
ひろば

## 四季の里 緑水苑

「四季の里 緑水苑」（郡山市喜久田町）をご紹介します。  
平成六年、佐久間繁氏（苑主）は、秀峰安達太良山を望み、五百川に隣接する広大な荒地（約三万坪）と湧水を目の当たりにした時、造園人としてこの地を何とかして世にだしたい、という強い衝動にかられたという。

腰まである雑草をかきわけ荒地地に入って目にしたのは、キショウブの花だった。五月の木漏れ日の中で、水面に映ったその姿は神秘的で、その光景の何と静謐だったことか。今でもその感動が忘れられないという。

緑水苑は「自然風」をコンセプトに四季折々の花や樹木そして流れで仕立てられている。そして苑の中央には安達太良山を映す水鏡。見事な借景だ。また、平成十年には「郡山万葉植物園」も併設し、万葉集に詠われている植物一七〇種の内、一五〇種類が鑑賞できる。

しかし、苑造りは、決して順調だったわけではない。予想もつかない集中豪雨、度重なる五百川の氾濫による大洪水、そしてその度の整備。何度とないその繰り返しがあっても、苑主は造園人としての「誇り」と荒地地を癒しの場にと強い「信念と夢」を捨てることはなかった。あるいは「来訪者に癒しと感動を」その一念だったのかもしれない。

開苑当時から樹木や色ものを増やし続けてきたが、最近苑主は、あそこの樹木やここにある色ものは要らない、と言われるようになったが、樹木を撤去した場所には、緑水苑だけの風が吹きわたり、雨が滴り落ちる。色ものを無くした場所には、緑水苑だけの白い雪がふり積もり、七色の光が注がれる。引き算の景造りは、何とも贅沢で心地よいではないか。

この地に開苑をして二〇年の歳月が流れ、苑主は八〇歳になられた。欲張りな感性は、年を重ねるごとに、とても質のいい贅沢な感性へと変わっていった。そして緑水苑はその歳月の分だけ、この地に落ち着き、自らが呼吸を始めているような気がする。是非、四季折々に足をお運びいただきたい。

## 表紙の写真



### 「新月伐採作業」

第11回ふくしま森林・林業写真コンクールで優秀賞を受賞した藤田一成さん（郡山市）の作品

編集

福島県内四森林管理署

福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林組合連合会

福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業協同組合

ふくしま緑の森づくり公社

森林総合研究所福島水源林整備事務所

福島県森林・林業・緑化協会

（福島市中町五番一八号県林業会館内）

発行人

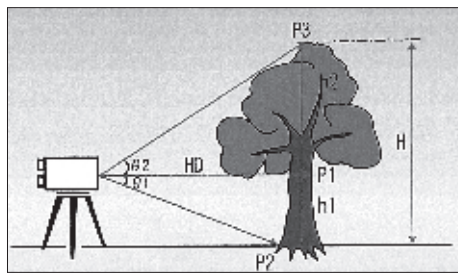
相馬 雅俊

陽光社印刷株式会社

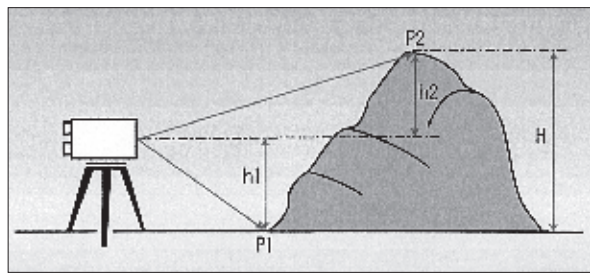
（定価 一〇八円）

## 高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

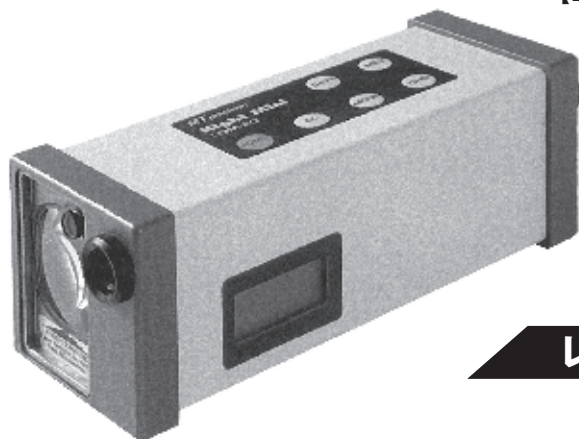


2. 堆積物等の山なり形状の場合



### 【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	±5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



# LDM-20

## レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

### 株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704



# 備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



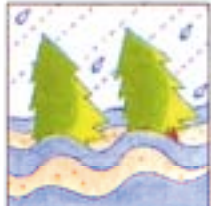
## 1 火災

山火事を受けた被害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの被害



## 3 水害

豪雨、洪水による冠水、水没、流失などの被害



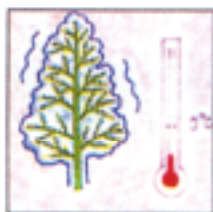
## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの被害



## 5 干害

乾燥による枯死などの被害



## 6 凍害

凍結、暴風などによる枯死などの被害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの被害



## 8 噴火災

火山噴火による燃焼、幹折れ、冠水、根返りなどの被害

〈保険の対象となる森林〉  
竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、新植、林齢に加入制限はありません。

〈ご相談・お申し込みは〉

- ◆県内各森林組合
- ◆福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課 TEL 024-621-7441

平成27年4月から名称が「森林国営」に変更です

イワフジのプロセッサ

## GP-45V グラップルプロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.

### シンプルと耐久性を追及したプロセッサ

- 高耐久性を追及したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モーターおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor  
MODEL : GP- 45V

**イワフジ工業株式会社**

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314  
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

### 林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



# 自然との調和

( 私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。 )  
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

**野生獣類から大切な植栽木を守る**

ヤシマレント

**蜂さされ防止**

ハチノックL(楽退治)  
ハチノックS(携帯用)

**大切な日本の松を守る住化グリーン®の林業薬剤**

ヤシマスミバイン乳剤  
ヤシマスミバインMC  
グリーンガードNEO  
パークサイドF  
ヤシマNCS  
モリエートマイクロカプセル  
マツグリーン液剤2  
マッケンジー

**くん蒸用生分解性シート**

与作シート(茶・白)  
(折りたたみ式  
専用キャリーバック使用)



## 住化グリーン株式会社

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423  
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

## 効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。 機器はゼノアから

チッパシュレッダ

プロソー



**竹もOK!**  
**SR3000-2**  
出力 22.3kW (質量1,330kg)  
水冷ディーゼル  
X379301020  
¥3,375,000(税抜)



**GZ3900EZ**  
排気量 39.1cm<sup>3</sup> (質量4.4kg)  
RSP 21BPX 967159403 ¥108,000(税抜)  
95VPX 967159303  
HS 25AP 967159104  
91VXL 967159204  
HM 21BPX 967159404  
95VPX 967159305



**GZ4300EZ**  
排気量 43.1cm<sup>3</sup> (質量4.4kg)  
45cm(18")  
RSP 21BPX 967160502 ¥133,700(税抜)  
95VPX 967159902  
HM 21BPX 967160504  
95VPX 967159904

**ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店**  
**(有)うねめ林業機械**

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1